

和歌山県立医科大学附属病院 リハビリテーション科

当科の特徴

和歌山県立医科大学附属病院リハビリテーション科専門研修プログラムは、臓器別医療の基本を踏まえたうえで、患者個人を全人的に理解し、障がい者の「かかりつけ医」と成り得る医師の育成を目的とします。また、将来開業を目指している方にも、地域医療で必要とされる幅広い診療能力のある医師を育成します。

当科には、リハビリテーション科専門医が6名、認定指導医が5名と国内屈指の指導体制の下、治療効果の高い超急性期のリハビリテーション診療を実施しています。この環境で研修することで基本的な診療能力、あらゆる疾患・障害に対するリハビリテーション治療を習得することが可能です。

また、このプログラムには多数の県内・県外の連携施設が加わっている為、専門医取得に必要な特殊症例や回復期病棟の経験を研修することができます。

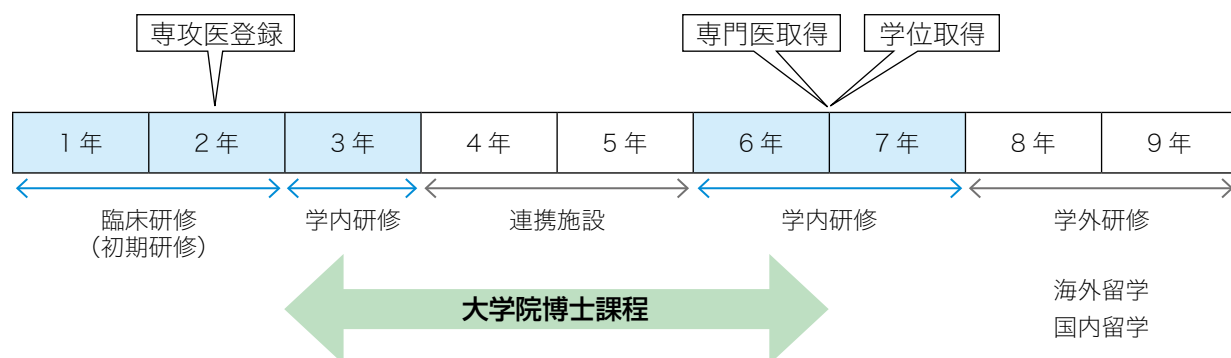
専門医取得後は、subspecialty 領域専門医の取得を希望される場合、必要な教育や国内留学先を準備します。結婚、妊娠、出産を十分考慮し、研修中の産休・育休からの復帰や育児が十分に行えるようプログラムを柔軟に変更します。



ローテーション例

一般枠コース

※ □ は学内研修



一般枠医師については原則プログラムのローテーションに従って研修を行います。

詳細は卒後臨床研修センター HP (http://www.wakayama-med.ac.jp/med/sotugo/koki/pdf/16_riha.pdf) に載っています。

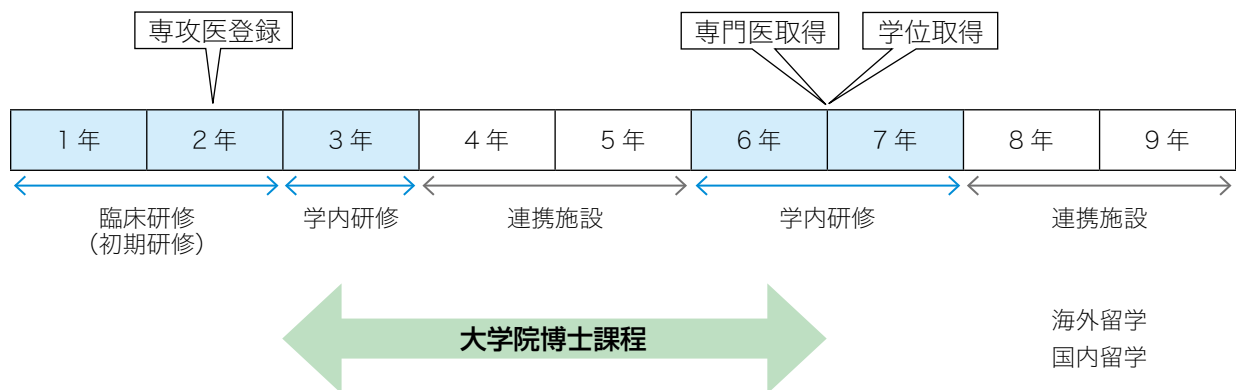
リハビリテーション科専門医は初期臨床研修の2年間と専門研修（後期研修）の3年間の合計5年間の研修で育成されます。受験資格を最短5年目で取得し、最短6年で専門医を取得できます。プログラムでは基幹病院となる大学病院での研修、回復期リハビリテーション病院での研修がそれぞれ6か月以上必要です。研修プログラムの修了判定には研修カリキュラムに示されている研修目標および経験すべき症例数があります。

専門医取得後は、臨床力の充実のために、県外の連携・関連施設での臨床研究が可能です。また、リハビリテーション関連分野の研修や subspecialty 専門医取得目的に国内留学が可能です。また研究目的に実績のある海外留学先での研究が可能です。

ローテーション例

県民医療枠コース

※ □ は学内研修



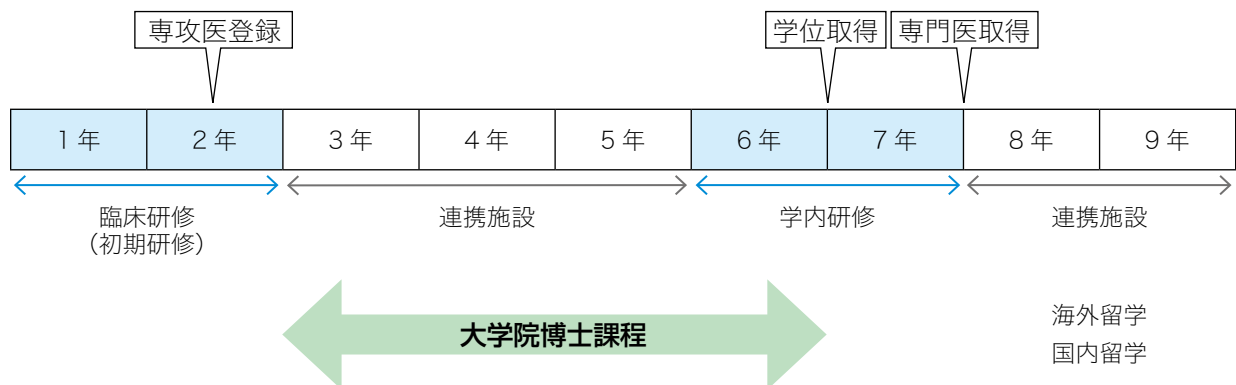
県民医療枠コースでは3年目は基幹施設である和歌山県立医科大学附属病院で研修を行います。4年目、5年目は地域中核病院である紀北分院、済生会和歌山病院などで研修します。希望者は大学院に入学し、地域中核病院での研修中も週1回は大学で研究を継続する事によって、最短、卒後6年で学位取得が可能です。

専門医取得後は大学に戻り、研究の継続や、更に高度な医療の研修を行います。

ローテーション例

地域医療枠コース

※ □ は学内研修



地域医療枠コースでは3～5年目は地域医療を行うべき地医療拠点病院等で研修を行います。6、7年目は基幹病院である和歌山県立医科大学附属病院で研修を行い、専門医を取得します。希望者は大学院に入学し、べき地医療拠点病院等での研修中も週1回は大学で研究を継続する事によって、最短で卒後7年で学位取得が可能です。8、9年目も再度べき地医療拠点病院等で勤務します。

専門医取得後は地域医療に従事しながら、研究や subspeciality 領域研修が可能です。

研修目標

- 1) リハビリテーション基礎医学：機能解剖・生理学、障害学、運動学
- 2) リハビリテーション診断学：内科診断、精神機能、高次脳機能、心肺機能、運動機能、嚥下機能、膀胱機能
- 3) リハビリテーション治療学：全身管理（呼吸・栄養）、薬物治療、ボトックス治療、運動療法、物理療法、装具療法、作業療法、言語聴覚療法
- 4) 各疾患に対するリハビリテーション治療：脳血管障害、脊髄損傷、骨関節疾患、心・呼吸器疾患、神経・筋疾患、小児疾患、切断など

教授からのメッセージ



田島 文博 教授



受験生の時、「人を助ける医師」になりたいと考えていませんでしたか？リハビリテーション医学は、患者さんの一生を通じて役に立てます。当科では、診察力と診断力を育み、検査能力を高め、投薬、観血的治療、技術を指導します。全身管理から家庭復帰まで、多岐にわたり実践できます。医師としての基本能力に加え、研究能力も身につけ、留学や幹部候補生としての様々な経験、そして、障がい者スポーツなどを通じた社会活動にも参加できます。また、女性は妊娠出産という課題がありますし、男性も積極的に育児しなくてはなりません。当科では教室員全員で力を合わせ支援します。是非、うちのプログラムでリハビリテーション科専門医を目指して下さい。

1) 出産・育児・疾病・介護・留学等があった場合でも、研修プログラムの休止・中断を期間を除く3年間で研修プログラムを達成できるように、柔軟な対応を行います。

2) 男性と女性のバランスが良い科で、男性・女性共に研修しやすい環境です。

3) 研修中は、大学では学内助教、連携施設では正職員として身分・収入面共に保証されているため、社会的・経済的な問題は少ないです。

4) リハビリテーション科の研修施設（連携施設）の中に、地域中核病院、へき地医療拠点病院等がありますので、県民医療枠、地域医療枠コースでも専攻医研修期間が延びないように配慮します。

経験目標

- 1) 脳血管障害・外傷性脳損傷など：15例以上
 - 2) 脊椎脊髄疾患・脊髄損傷：10例以上
 - 3) 骨関節疾患・骨折：15例以上
 - 4) 小児疾患：5例以上
 - 5) 神経筋疾患：10例以上
 - 6) 切断：5例以上
 - 7) 内部障害：10例以上
 - 8) その他（廃用症候群、がん、疼痛性疾患など）：5例以上
- の計75例を含む100例以上を経験する必要があります。

5) 専門医取得後の研修・国内留学先が豊富です。（岩手医大、横浜市立大学、京都府立医大、関西電力病院、吉備高原リハビリテーションセンターなど）また、国外留学も実績があり、ニュージャージー州立医科大学、テキサス大学ダラスプレビテリアン病院、メイヨークリニック、ラフバラ大学などを希望者には予定しています。



当科で取得可能な専門医と指導体制

研修施設	リハ専門医
和歌山県立医科大学附属病院	6
和歌山県立医科大学附属病院 紀北分院	1
那智勝浦町立温泉病院	2
済生会和歌山病院	1
済生会有田病院	1
和歌山ろうさい病院	2
和歌山生協病院	1
角谷リハビリテーション病院	2
貴志川リハビリテーション病院	1

研修施設	リハ専門医
名手病院	1
愛徳医療福祉センター	1
琴の浦リハビリテーションセンター	1
ちゅうざん病院	2
関西電力病院	2
ベガサスリハビリテーション病院	1
秋津鴻池病院	1
吉備高原リハビリテーションセンター	1

